

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和8年3月31日

公表: 令和 8 年 3 月 31 日

事業所名 放課後等デイサービス こくりこじもくじ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		一人当たりのスペースは確保出来ています。	今後も継続していきます。
	2 職員の配置数は適切である	○		基礎人員以上の配置をしています。	今後も継続していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		クールダウン出来るスペースを設ける等、ほんにんが落ち着いて過ごせるよう配慮し、段差などは転倒がないよう支えるなどきをつけてます。	今後も継続していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		心地良く過ごせるよう整理整頓など心掛けています。	今後も継続していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎朝のミーティング、月一回の全体ミーティングを実施しています。	今後も継続していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年実施しており、意見を真摯に受け止め、改善に努めて参ります。	今後も継続していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。	今後も継続していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今のところ実地予定はありません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		地域主催の研修への参加、事業所内での研修を定期的に行っております。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		どんな事も話し合える信頼関係を作っています。	今後も継続していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントツールも検討していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントシートを元に個人の特性に合った計画を立てるようにしています。保護者の意見、関連機関との情報もとりいれ作成しています。	今後も継続していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		変更事項等あれば、計画の見直しをしています。	今後も継続していきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムが固定化しないように、毎月のミーティングで活動内容を考えています。	今後も継続していきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		SNSなどを参考に新しい活動も取り入れるようにしています。	今後も継続していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個人に合わせて話し合いをしながら計画書作成をしています。	今後も継続していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングで話し合っています。	今後も継続していきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		一日の振り返りをし、気になる点など話し合い今後の支援に取り入れていきます。	今後も継続していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		サービス実施記録、報告書に記録しています。	今後も継続していきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		全職員で話し合いながらモニタリングを作成しています。	今後も継続していきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や現場職員が参加しています。	今後も継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		地域の部会へ参加し、連携を図っている。	今後も継続していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		お迎え時間などに、担当の先生方と児童の様子、困りごと等の意見交換、情報共有しています。	今後も継続していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援会議等に参加する。	会議等ないケースでも、事業所から発信できるよう取り組んでいます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加し、アドバイスをいただいています。	今後も継続していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後は交流出来る機会を模索していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		参加しています。	今後も継続していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や情報ツールを使って児童の状況を共有し、課題などあればその都度話し合うようにしています。	今後も継続していきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ミーティングなどで、家族支援プログラムの話し合いを行うようにしている。	今後も継続していきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	今後も継続していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		説明し、同意を得ています。	今後も継続していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時などに対応させてもらったり、希望に応じて面談を行っている。	今後も継続していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年に一度、保護者会を実施している。	今後も継続していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子供からの相談があった場合直ぐに話し合いをして対応しています。	今後も継続していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを使用して活動カレンダーや連絡事項などの情報発信をしています。	今後も継続していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の取り扱いには、十分に気を付けています。	今後も継続していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個別対応するなどの配慮をさせてもらっています。	今後も継続していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民が参加できるようなお祭りなど考えていきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		周知しています。	今後も継続していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		半年に一度、避難訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に提出して頂くアンケートにて確認し、職員間で周知しています。	今後も継続していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に提出して頂くアンケートにて確認し、職員間で周知しています。	今後も継続していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットをかいた日に改善策など話し合い、次につなげていきます。	今後も継続していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		日頃から職員同士で声を掛け合い、研修等で学べるようにしています。	今後も継続していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束は必要最低限しないよう職員に伝えていきます。身体拘束の説明書を交わしています。	今後も継続していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。